

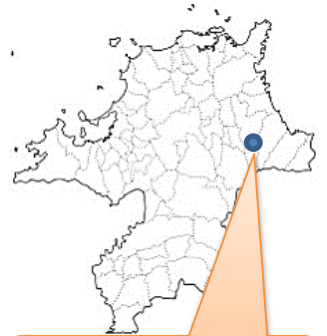
発掘新聞

平成 29 年 3 月 31 日
平成 28 年度最終号

編集・発行

九州歴史資料館

電話 0942-75-9575



しもいらはらたけのうちいせき
下伊良原竹の内遺跡

ダム建設工事も佳境

京都郡みやこ町で建設中の伊良原ダム予定地内で実施してきた埋蔵文化財発掘調査が3月16日、終了した。

伊良原ダムは、洪水の調整、京築・田川地区への水道用水の供給、農業用水の確保等を目的とした重力式コンクリートダムで、福岡県伊良原ダム建設事務所によると平成29年度中の竣工を目指している。



下伊良原竹の内遺跡

福岡県教育庁文化財保護課と九州歴史資料館では、ダム建設で破壊される恐

れのある埋蔵文化財の発掘調査を平成18年度以降続けており、その数は23遺跡（32地点）にのぼる。今月16日、その最後の地点となった「下伊良原竹の内遺跡」の発掘調査が終了した。

下伊良原竹の内遺跡の発掘調査は平成24年度から断続的に実施しており、今回調



急ピッチで建設中の伊良原ダム



副葬品のある土壌墓

査したB区は伊良原小学校の校舎跡地にあたる。発見された遺構は、上層から中世（平安時代末～鎌倉時代頃）の土壇墓（どこうぼ）と呼ばれる素掘りの墓1基と土坑（どこう）と呼ばれる大型の穴多数などで、さらに下層からは縄文時代早期～前期（9000～6000年前頃）と考えられる土器、石器が出土した。中世と縄文時代が遺跡の中心的内容となることは、これまで行ってきた伊良原ダム関係の発掘調査でもほぼ共通する。「かつて通っていた校舎の下にこんな遺跡が眠っていたとは」と、見学に訪れた地元住民は驚きを隠せない。

発掘調査の成果は、今後一年間かけて整理したうえで、調査報告書として九州歴史資料館から刊行する予定。

（小川泰樹記者）

伊良原小学校校舎

昭和23年落成。稀少な木造校舎として、麦焼酎のCMや、映画『信さん・炭鉱町のセレナーデ』の撮影などでも使用された。県内最古の校舎であったが、平成24年に惜しまれつつ64年の歴史に幕をおろした。



平成12年、読者撮影